

平成28年度 山形県校友会定時総会と学術講演会

◆定時総会

平成28年11月5日（土）午後3時より、鶴岡市湯田川温泉「九兵衛旅館」にて、約30人の会員が参加し、第101回山形県校友会が開催されました。今野順彦山形県校友会専務理事（80回）の司会進行の下、本間宗一山形県校友会会長（65回）・西村正美校友会本部副会長（78回）よりご挨拶をいただきました。西村先生より、今後もこれまでと変わらず政治活動を続けていく旨、力強い発言がありました。

◆学術講演会

続いて、新潟生命歯学部医の博物館准教授である佐藤利英先生（79回）を講師としてお招きし、「リングライズドオクルージョンの臨床応用基準」という演題で講演していただきました。医の博物館の紹介や、各咬合について詳しく教えていただきました。中でも、リングライズドオクルージョンに設定した総義歯を装着した患者さんとその他の咬合を設定した総義歯を装着した患者さんとの食事の比較動画がとても印象的でした。咬合の違いで、「こんなにも噛む力が変わるんだ!」と、とても勉強になりました。

ました。

最後に、中原式咬合器の歴史を動画で分かりやすく説明していただき、一同釘づけでした。

◆懇親会

写真撮影後、各自ゆっくりと温泉に浸かり、午後6時30分よりお待ちかねの懇親会が始まりました。司会進行は迎田 健 山形県校友会副会長（75回）で、本間県校友会会長、西村校友会本部副会長よりご挨拶をいただき、五十嵐正大先生（54回）より乾杯のご発声をいただきました。五十嵐先生より、「中原 泉 全医の小説集」という中原 泉 理事長の本のご紹介もありました。

おいしい庄内の割烹料理に、校友会一同舌鼓を打ちながら、先輩・後輩の垣根を超え、とても楽しいひと時を過ごすことができました。粋な海鮮と料理長の斬新な創作料理は夕食のみならず朝食にも一同ビックリでした。また来年の校友会を楽しみに、今年の校友会の幕が閉じました。

（池田聡子・95回記）



講師の佐藤利英先生



美味しい料理

本間宗一山形県
校友会会長と、
西村正美校友会
本部副会長